



前略 会員の皆様へ（第一信）

WSFジャパン代表 三ツ谷洋子

お変わりありませんか。いつもWSFジャパンへのご支援、ありがとうございます。今号から、皆様あてのお手紙を差し上げることにいたしました。ふだんお目にかかる機会がない皆様に、私自身の女性スポーツ振興に対する考え方や、活動にまつわる裏話などを、お伝えしたいと思います。

さて、今回は「もっと女性の登用を」というテーマで、二つの出来事をお伝えします。

その一「広島アジア大会の日本選手団には、女性役員がいなかった」。皆様、覚えてますか？前回の北京大会では、小野清子さん（WSFジャパン会員、参議院議員）が初の女性役員として大会に参加しました。ところが今回はゼロ。女性スポーツ振興の視点から見ると一步後退。とても残念です。選手団の編成をしたJOC（日本オリ

ンピック委員会）に抗議すべきでした。九月二十六日の女子レスリングのパティー（世界選手権六連覇祝勝会）で小野さんにお会いしたら、「私たち女性が）黙っていると、すぐこうなんだから」と嘆いていました。（私もガッカリです）

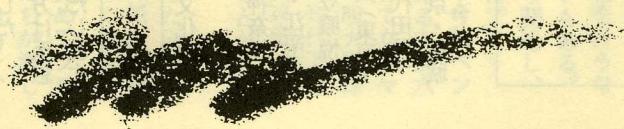
その二「もっと女性を、といつてくられるようになった男性たち」。私が仕事を接するスポーツビジネスのコンサルティングが本業です）で身を置くスポーツ産業界、ボランティアとして様々な肩書で接するスポーツ界は、いずれも昔ながらの典型的な男性主導型の社会です。そこでお目にかかる男性たちが「もっと女性を入れましょう」と、よく口にするようになりました。しかし、これまで男性たちが女性を育ててこなかつたのも事実。急にいわれても「駒」不足。女性の教育をよろしく！

|| WSFジャパンとは ||

WSFジャパン（女性スポーツ財团日本支部）は、米国のWSFをお手本とし、日本の女性スポーツの発展、振興を目指し、一九八一年一二月に旗揚げされたボランティア団体です。

	入会金	年会費
賛助会員	…5万円	10万円（一口）
団体会員	…5千円	1万5千円
個人会員	…3千円	8千円
学生会員	…3千円	5千円

女性スポーツを応援しています。



スポーツビジネス総合シンクタンク

SPORTS 21®